

太田商工会議所管内景況調査報告書

(第97回)

2021年 1月～3月期 実績

2021年 4月～6月期 見通し

太田商工会議所

〒373-8521 群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276(45)2121

FAX 0276(45)1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

E-Mail info@staff.otacci.or.jp

太田商工会議所 景況調査 目次

調査要項・・・・・・・・・・・・・・・・	1
調査目的や対象企業（業種）、回答率など	
設問に対する業種別回答・・・・・・・・	2
9つの質問に対する業種別による回答状況	
業種別D I 値について・・・・・・・・	5
6つの業種ごとのD I 値及び回答企業からのコメント	
全体D I 値について・・・・・・・・	9
全ての業種を併せたD I 値と1年間の推移	
比較資料編・・・・・・・・・・・・・・・・	10
同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較 (中小企業基盤整備機構、日本商工会議所LOBO調査、日銀短観)	

【調査要項】

1. 目的

管内経済動向を把握し、併せて経営者への情報提供とするとともに、今後の経営指導の資料とする。

2. 調査時点及び対象期間

- ① 調査時点 2021年3月
- ② 調査対象期間 今期（2021年1月～3月期）に対する前期（2020年10月～12月期）及び前年同期（2020年1月～3月期）との比較実績、並びに今後3ヶ月間の業況見通しについて調査。

3. 調査対象

当所会員事業所の業種を5つ（製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業）に分類し、製造業に関しては、更に「輸送機器」と「その他製造業」に分けた。

調査対象先の企業数については、太田商工会議所会員事業所の業種割合にて案分し、下記の通り調査を実施した。

4. 回答状況

	依頼数		回答数	回答率
全 体	270	→	211	78.1 (%)
輸送機器	40	→	30	75.0 (%)
その他製造	40	→	36	90.0 (%)
建設業	50	→	40	80.0 (%)
卸売業	30	→	25	83.3 (%)
小売業	40	→	29	72.5 (%)
サービス業	70	→	51	72.9 (%)

5. D I 値について

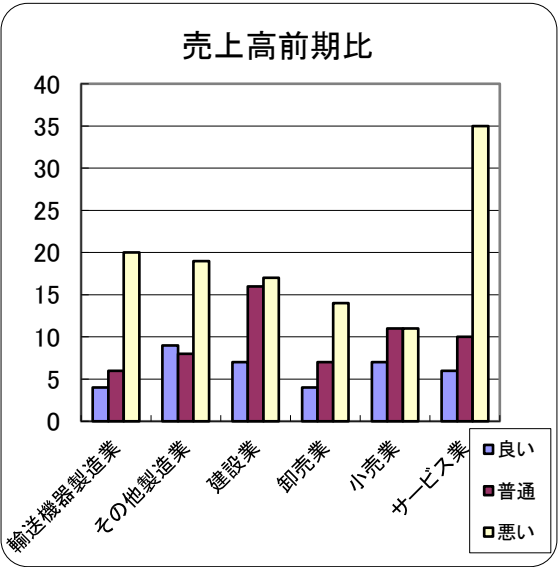
D I とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、良い（増加）と答えた企業の割合から、悪い（減少）と答えた企業の割合を引いたもので、企業経営者の景況判断をみる指標である。

（例：ある設問において、「良い」と答えた企業…15% 「悪い」と答えた企業…25%の場合、D I 値は▲10.0となる。）

(1)設問に対する業種別回答

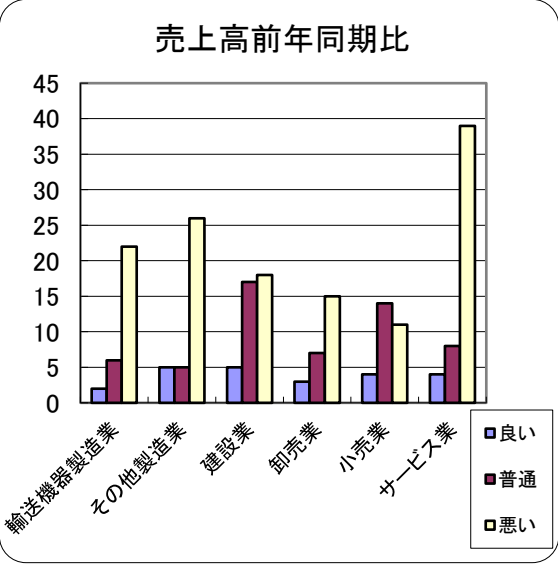
売上高前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	4	6	20	30	▲ 53.3
その他製造業	9	8	19	36	▲ 27.8
建設業	7	16	17	40	▲ 25.0
卸売業	4	7	14	25	▲ 40.0
小売業	7	11	11	29	▲ 13.8
サービス業	6	10	35	51	▲ 56.9
合計	37	58	116	211	▲ 37.4



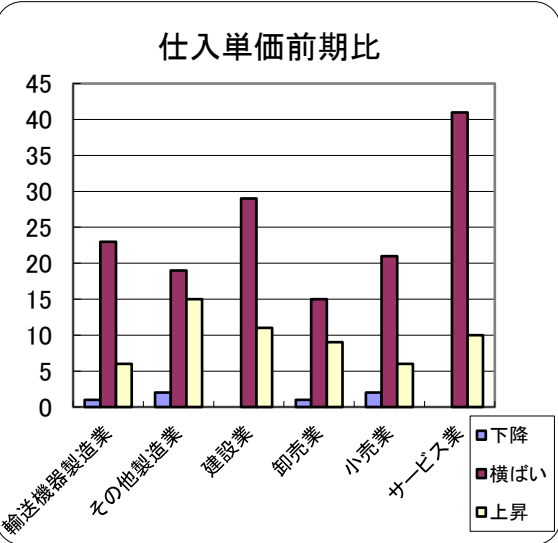
売上高前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	2	6	22	30	▲ 66.7
その他製造業	5	5	26	36	▲ 58.3
建設業	5	17	18	40	▲ 32.5
卸売業	3	7	15	25	▲ 48.0
小売業	4	14	11	29	▲ 24.1
サービス業	4	8	39	51	▲ 68.6
合計	23	57	131	211	▲ 51.2



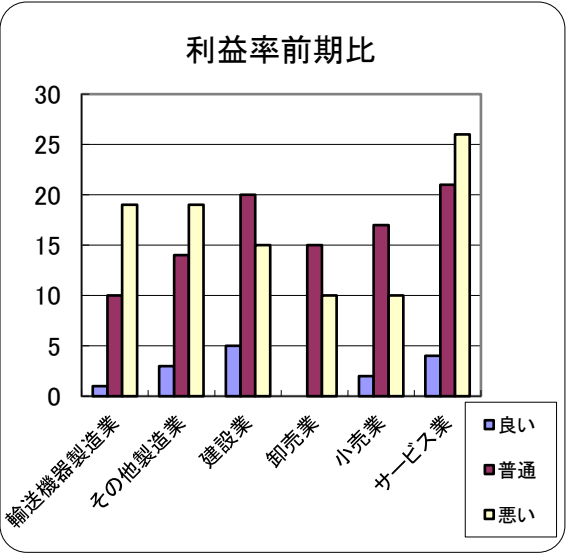
仕入単価前期比

	下降	横ばい	上昇	合計	DI値
輸送機器製造業	1	23	6	30	▲ 16.7
その他製造業	2	19	15	36	▲ 36.1
建設業	0	29	11	40	▲ 27.5
卸売業	1	15	9	25	▲ 32.0
小売業	2	21	6	29	▲ 13.8
サービス業	0	41	10	51	▲ 19.6
合計	6	148	57	211	▲ 24.2



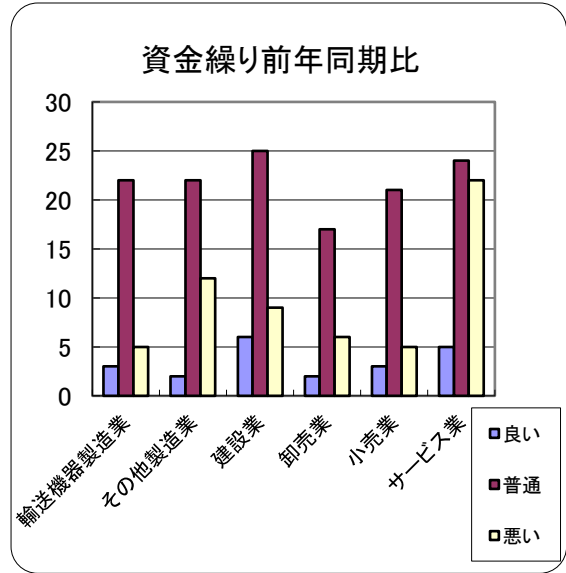
利益率前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	1	10	19	30	▲ 60.0
その他製造業	3	14	19	36	▲ 44.5
建設業	5	20	15	40	▲ 25.0
卸売業	0	15	10	25	▲ 40.0
小売業	2	17	10	29	▲ 27.6
サービス業	4	21	26	51	▲ 43.1
合計	15	97	99	211	▲ 39.8



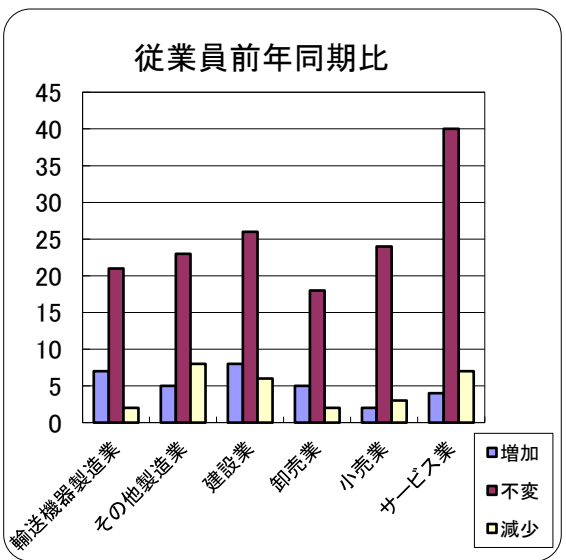
資金繰り前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	3	22	5	30	▲ 6.7
その他製造業	2	22	12	36	▲ 27.8
建設業	6	25	9	40	▲ 7.5
卸売業	2	17	6	25	▲ 16.0
小売業	3	21	5	29	▲ 6.9
サービス業	5	24	22	51	▲ 33.3
合計	21	131	59	211	▲ 18.0



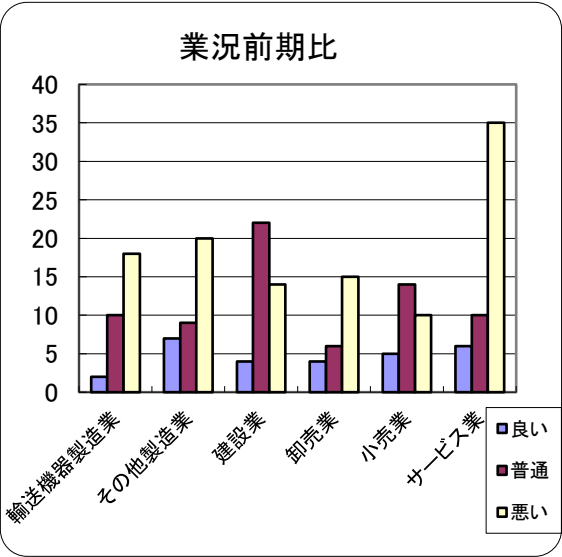
従業員前年同期比

	増加	不変	減少	合計	DI値
輸送機器製造業	7	21	2	30	16.7
その他製造業	5	23	8	36	▲ 8.3
建設業	8	26	6	40	5.0
卸売業	5	18	2	25	12.0
小売業	2	24	3	29	▲ 3.4
サービス業	4	40	7	51	▲ 5.9
合計	31	152	28	211	1.4



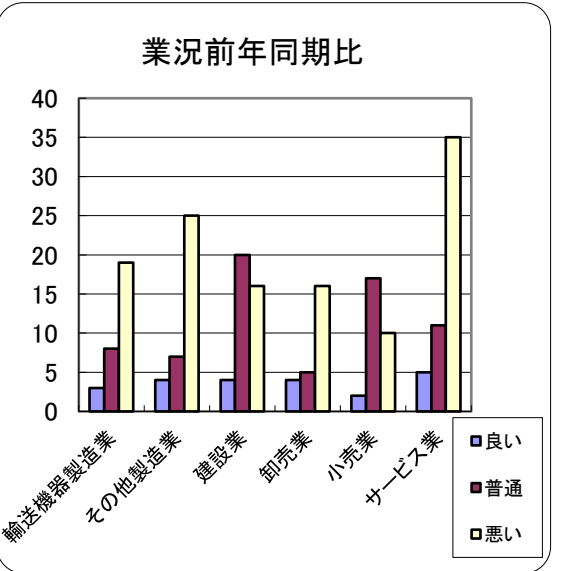
業況前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	2	10	18	30	▲ 53.3
その他製造業	7	9	20	36	▲ 36.1
建設業	4	22	14	40	▲ 25.0
卸売業	4	6	15	25	▲ 44.0
小売業	5	14	10	29	▲ 17.2
サービス業	6	10	35	51	▲ 56.9
合計	28	71	112	211	▲ 39.8



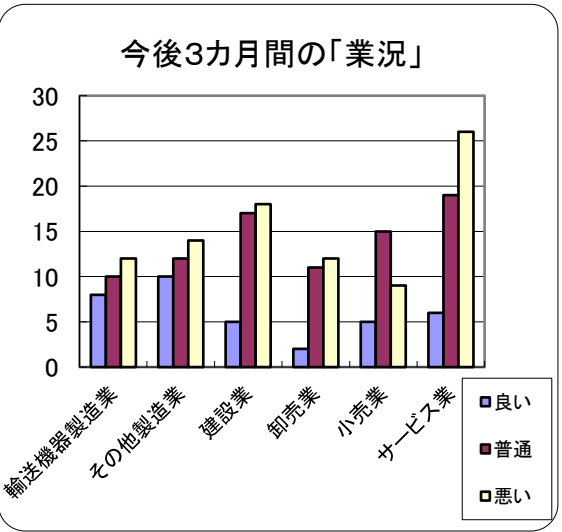
業況前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	3	8	19	30	▲ 53.3
その他製造業	4	7	25	36	▲ 58.3
建設業	4	20	16	40	▲ 30.0
卸売業	4	5	16	25	▲ 48.0
小売業	2	17	10	29	▲ 27.6
サービス業	5	11	35	51	▲ 58.8
合計	22	68	121	211	▲ 46.9



今後3ヶ月間の「業況」見通し

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	8	10	12	30	▲ 13.3
その他製造業	10	12	14	36	▲ 11.1
建設業	5	17	18	40	▲ 32.5
卸売業	2	11	12	25	▲ 40.0
小売業	5	15	9	29	▲ 13.8
サービス業	6	19	26	51	▲ 39.2
合計	36	84	91	211	▲ 26.1



(2)業種別DI値について

輸送機器	前期(10～12月期)	今期(1～3月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 21.9	▲ 53.3	▲ 31.4
売上高前年同期比	▲ 43.8	▲ 66.7	▲ 22.9
仕入単価前期比	▲ 6.3	▲ 16.7	▲ 10.4
利益率前期比	▲ 18.8	▲ 60.0	▲ 41.2
資金繰り前年同期比	▲ 9.4	▲ 6.7	2.7
従業員前年同期比	6.3	16.7	10.4
業況前期比	▲ 15.6	▲ 53.3	▲ 37.7
業況前年同期比	▲ 34.4	▲ 53.3	▲ 18.9
今後3ヶ月間の業況見通し	9.4	▲ 13.3	▲ 22.7

[企業コメントより]

・社内の仕上検収で問題ありマイナスですが、仕事はあります。発注してくださる親会社に感謝します。
【プレス金型】

・コロナリバウンドにより人手不足。【エンジン部品】

・半導体不足による自動車生産への影響【内装部品】

・自動車の減産が影響しています。【内装部品】

その他製造業	前期(10～12月期)	今期(1～3月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 20.0	▲ 27.8	▲ 7.8
売上高前年同期比	▲ 65.7	▲ 58.3	7.4
仕入単価前期比	▲ 20.0	▲ 36.1	▲ 16.1
利益率前期比	▲ 45.7	▲ 44.5	1.2
資金繰り前年同期比	▲ 20.0	▲ 27.8	▲ 7.8
従業員前年同期比	▲ 14.3	▲ 8.3	6.0
業況前期比	▲ 22.9	▲ 36.1	▲ 13.2
業況前年同期比	▲ 62.9	▲ 58.3	4.6
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 34.3	▲ 11.1	23.2

[企業コメントより]

・コロナの影響がもろに出た。各アパレルが昨年売れなかった商品を今年店頭に出すため、今年は生産を控えた。
受注が全くない状態である。【ニット製品】

・昨年4月以降、アミューズ関連(パチンコ・スロットetc.)部品の動きが大変悪いため。【プラスチック加工】

・コロナの影響で海外の動きが悪くなり少なからず輸入状況によくない影響があった。【電気製品】

・原材料の不足、高騰による業績悪化【冷熱関連钣金部品】

・足もとはそれなりに仕事はあるが、4月以降は不透明である。【産業機械設備】

・リフォームや買い替え需要により前期から引き続き好調に推移。今後も堅調に推移していくことを見込んでいる。
【温熱機器製造】

・1都3県の緊急事態宣言や群馬県の飲食店時短自粛要請に伴い、売上高は大幅に低下し大赤字(同期間過去最悪)となる見込みである。資金繰りも既に厳しい状況である。食品業界でも外食向けとスーパー向けでは天と地の差がある。【食品製造】

・1件も仕事無い月があった。問い合わせすら無い【内装材製造】

建設業	前期(10～12月期)	今期(1～3月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 10.8	▲ 25.0	▲ 14.2
売上高前年同期比	▲ 24.3	▲ 32.5	▲ 8.2
仕入単価前期比	▲ 18.9	▲ 27.5	▲ 8.6
利益率前期比	▲ 18.9	▲ 25.0	▲ 6.1
資金繰り前年同期比	▲ 5.4	▲ 7.5	▲ 2.1
従業員前年同期比	10.8	5.0	▲ 5.8
業況前期比	▲ 5.4	▲ 25.0	▲ 19.6
業況前年同期比	▲ 21.6	▲ 30.0	▲ 8.4
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 27.0	▲ 32.5	▲ 5.5

[企業コメントより]

- ・コロナ禍で設備投資も期待できない為【土木工事】
- ・工期15カ月の案件が売り上がった。【総合建設】
- ・新型コロナによる影響が出始めている。今後大きくなりそう。【エクステリア工事】
- ・全体的な落ち込みにより建設業界も少し影響が出ている。景気の浮き沈みが小さければ良いのだが？
【建物付帯工事】

卸売業	前期(10～12月期)	今期(1～3月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 12.0	▲ 40.0	▲ 28.0
売上高前年同期比	▲ 72.0	▲ 48.0	24.0
仕入単価前期比	▲ 32.0	▲ 32.0	0.0
利益率前期比	▲ 16.0	▲ 40.0	▲ 24.0
資金繰り前年同期比	▲ 16.0	▲ 16.0	0.0
従業員前年同期比	16.0	12.0	▲ 4.0
業況前期比	▲ 28.0	▲ 44.0	▲ 16.0
業況前年同期比	▲ 60.0	▲ 48.0	12.0
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 56.0	▲ 40.0	16.0

[企業コメントより]

・今後の商売ネタも情報もないまま、年明けから月次売上は最低記録を更新中である。そんな中、昨年後半から銅価格が上昇し、2月に急騰、3月に入って2007年以来の高騰となっている。銅を主材料とする電線・ケーブル、空調用配管等の値上がりが続き、他の部品や材料も値上げの春となる。値上がり分をうまく売価に反映できれば良いのだが、低価格競争は厳しい。【電気関連資材卸】

・物件、案件の絶対数が少ない。先が見えない。【建築資材卸】

・コロナウィルス感染症に伴い、営業訪問もままならず、新聞折り込みチラシ宣伝を考え、月一度実行に移した結果、宣伝効果あり顧客数が確保され、前年度を上回る売り上げ状況となった。太田市住宅リフォーム補助金制度に期待している顧客もある。ただ、制度の申し込みのため整理券を貰うため業者が何百人も並んでいるのは考えてほしい。【住宅資材卸】

・飲食店の時短営業や休業、廃業等々が多く、更に増加するような傾向がみられる。新型コロナウィルスの感染の影響で消費者の生活スタイルが変化し、「密」になる事がなくなっている。各地区のイベントや催事も昨年と同様、中止となる状況なので、今後は一段の悪化を想定しつつ業務に対応しなければならない。【飲食料品卸】

小売業	前期(10～12月期)	今期(1～3月期)	比較増減
売上高前期比	0.0	▲ 13.8	▲ 13.8
売上高前年同期比	▲ 35.7	▲ 24.1	11.6
仕入単価前期比	▲ 17.9	▲ 13.8	4.1
利益率前期比	▲ 35.7	▲ 27.6	8.1
資金繰り前年同期比	▲ 28.6	▲ 6.9	21.7
従業員前年同期比	▲ 17.9	▲ 3.4	14.5
業況前期比	▲ 32.1	▲ 17.2	14.9
業況前年同期比	▲ 42.9	▲ 27.6	15.3
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 53.6	▲ 13.8	39.8

[企業コメントより]

・イベント向けの卸売販売が売り上げの中心で、小売店がコロナのため販売ができなくなった。このため毎日製造する商品が減少している。※小売店はイベント中止のため減少大です。【食料品販売】

・人々の生活が”巣籠もり”状態となり、すぐ戻るとも思わない。今後とも厳しいと思います。【食料品等販売】

・2021年の年後半のV字回復の有無を占ううえで、6月以降のコロナの状況がその行方を大きく左右することは間違いないと思っております。それまでに約3,600万人分の高齢者の方々への「ワクチン」接種が終了していれば、十分に回復期待もありますが、未接種が人口の20%くらいだったら、景気回復は2022年に延びてしまうと思っております。

【食品・ギフト品販売】

・弊社は小売業のため、出店SCの客数に影響される部分が多いです。現在は前期に比べ客数が増加傾向に感じられ、今後に期待されるところですが、コロナ感染症が再拡大しないことを祈ります。【化粧品等販売】

・昨年の4－6月が悪かったので、それよりは良くなると思う。人件費が減った分、楽になった。【衣料品等販売】

・コロナ禍がはじまり去年と同じ位で推進しています。増加は無理ですが現状維持できているのでとりあえず納得しています。【酒・飲料販売】

・前年同期からの1年で、変化に対応する手段や工夫、また予測する事など、経験を通して学んだ点もある。それらを生かしながら経営手法を更に柔軟に変えていくことを模索中である。【化粧品等販売】

・ありがたい事に、特殊たばこをメインにしたことで今のところ順調に来ている。【たばこ等嗜好品】

サービス業	前期(10～12月期)	今期(1～3月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 46.2	▲ 56.9	▲ 10.7
売上高前年同期比	▲ 76.9	▲ 68.6	8.3
仕入単価前期比	▲ 7.7	▲ 19.6	▲ 11.9
利益率前期比	▲ 42.3	▲ 43.1	▲ 0.8
資金繰り前年同期比	▲ 42.3	▲ 33.3	9.0
従業員前年同期比	▲ 11.5	▲ 5.9	5.6
業況前期比	▲ 44.2	▲ 56.9	▲ 12.7
業況前年同期比	▲ 71.2	▲ 58.8	12.4
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 63.5	▲ 39.2	24.3

[企業コメントより]

・自動車生産が、半導体部品の品薄により大幅に制限を受けているため。徐々に回復してほしいけれど、先行き不透明。【陸送業】

・いつまで国や県を挙げて、コロナ対策をおこなっているのか？特に日本の感染者数からいえば指定感染症第2類相当から第5類への引き下げを要望したい。感染開始からすでに一年たった今、コロナウィルス感染を予防し、賢く生活するための様々な手段を学んだ。感染対策のモードチェンジを早急に行い、従来の日常を取り戻さなければ、オリンピックを開催するどころか、経営の行き詰まりによりコロナ以上に多くの命を失う恐れがある。バランス感覚を失うことなく国や経済を立て直すべき。【広告代理店】

・この3カ月は昨年12月からの時短営業で売上は昨年の半分位となっています。それでも仕入は準備のため同じように仕入ざるを得ないので資金繰りも大変です。早く通常になる事を願うばかりです。【レストラン】

・前年同期はコロナ前のため売上は堅調であった。今年は1月からの20時までの時短要請により十分な営業ができず売上は急減した。時短要請の解除により今後利用客の回復ができることを願うばかりです。【飲食店】

・コロナの影響で売上げが激減、弁当屋は補助金が無く、とても大変であります。【飲食店】

・見通しのつかない業況と感じています。

特色のある製品(料理・弁当)の開発が必要と考えます。【ケータリング】

・新型コロナの世の中になり一年が経過しましたが、以前のような客足、売上ともになかなか戻っていません。人が動けば感染者が増え、人が動かなければ客数、収入が減る。いったい、いつまでこの状況が続くのでしょうか。

【理容業】

・自動車業界の生産調整によって稼働が少なくなっているため、弊社商品のスクラップの発生が減少している。自動車以外でも機械・建設関係からも発生が少なくなっており、集荷に苦労している。売単価が海外市況の変化で上下に振れており、売上も安定せず今後の経営状況にも苦労するだろうと思っている。単価が上がっても資材が発生しなければ宝の持ち腐れ状態でもある。【資源回収】

・ここへ来て顧客の動向が全く読めず困惑している。コロナ禍での営業持続は苦しいものではあるが、新しく取り入れるべきこと、又は変わらず持続するべきことをその都度判断していかなければならないと感じている。今は、広く浅くの営業で、方向性は一本に絞ることはできそうにない。

本来なら今は例年ならパーティー予約がたくさん入る時期ではあるが、当然ながら全く予約が入らない。幸いテイクアウトのオーダーも多く助かっているが、容器代が高く利幅が少なくなってしまう。このため容器はなるべく大量注文して原価を抑えるなどしてはいるが、テイクアウトが一時のブームで終わってしまうのか、大量の容器は使わずじまいになってしまうのか…などなど、今後の不安を数えたらキリがない。常に市場動向を敏感にキャッチしながら、新しいことを見つけつつ、使えるものは使いながら色々なことにチャレンジし、魅力ある商品を提供できるように前向きに頑張りたい。【飲食店】

・緊急事態宣言が解除される見通しだがその後まったく先がみえない。

今までの商売が通用しないのではないかと不安。【飲食店】

・ワクチンに期待したい！【美容業】

・売り上げが過去最低をマーク、時短要請がきつかった。

仕入金額は増えず、値上げもされなかったが、現状維持にはまだまだ。

要請解除されたからと言ってすぐにお客様が戻ってきてくれるとは思えない。今更だが、テイクアウトにも力を入れていかないと。【喫茶店】

・短縮営業が解除され、ワクチン接種も始まり、人々の活動が活発になることを期待しています。【飲食店】

(3) 全体DI値について

全 体 D I 値	前期(10～12月期)	今期(1～3月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 21.5	▲ 37.4	▲ 15.9
売上高前年同期比	▲ 54.5	▲ 51.2	3.3
仕入単価前期比	▲ 15.8	▲ 24.2	▲ 8.4
利益率前期比	▲ 31.1	▲ 39.8	▲ 8.7
資金繰り前年同期比	▲ 22.0	▲ 18.0	4.0
従業員前年同期比	▲ 2.9	1.4	4.3
業況前期比	▲ 25.8	▲ 39.8	▲ 14.0
業況前年同期比	▲ 50.2	▲ 46.9	3.3
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 38.8	▲ 26.1	12.7

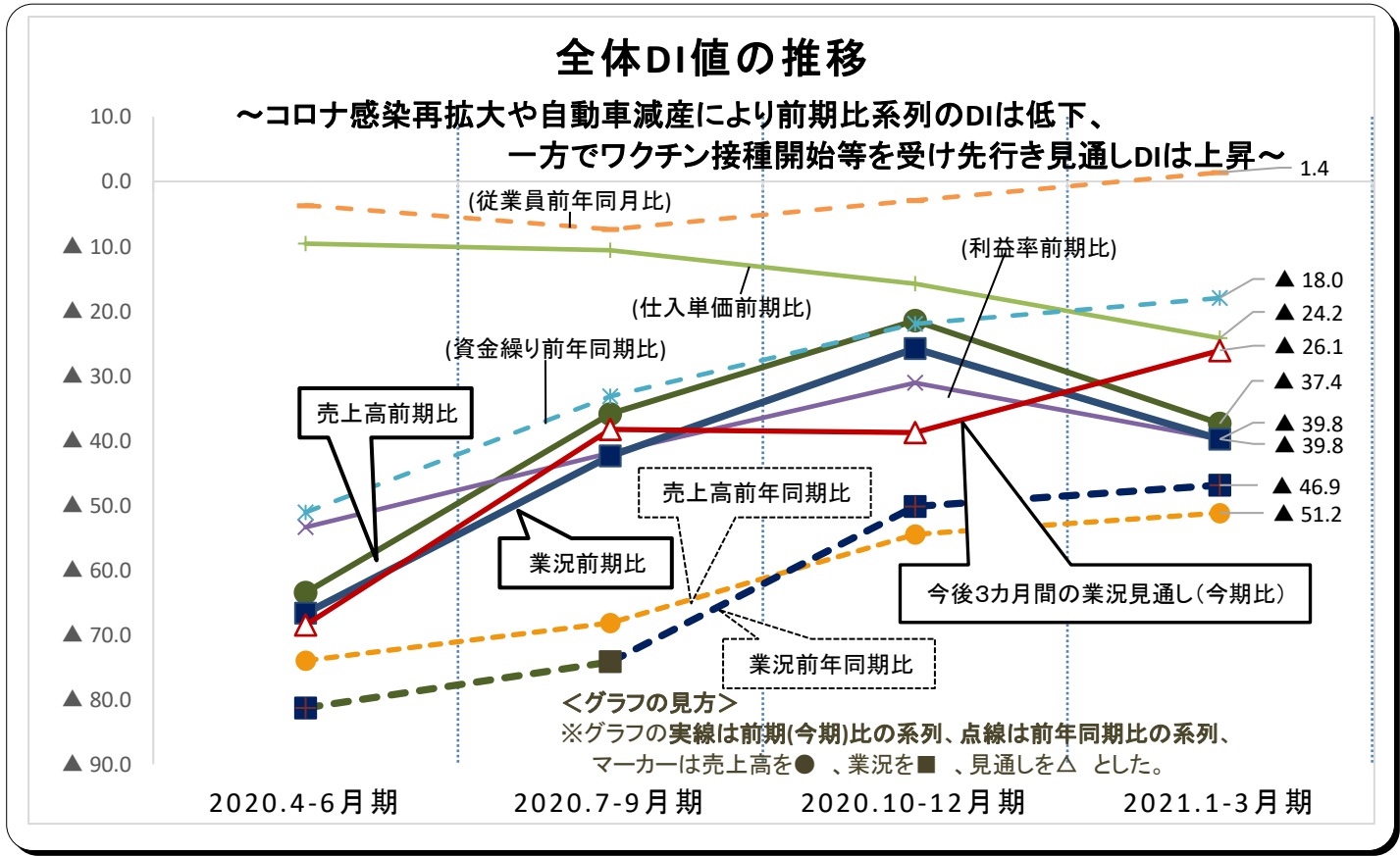
(4) 動向について

・前期比の業況DIは、年初のコロナ感染再拡大や部品調達難による完成車減産などにより多くの業種で低下した。一方で、前年同期比の業況DIは総じて緩やかに上昇を続け、持ち直し基調にある。

・前期比の業況DIを業種別にみると、輸送機器が急落したほか他の業種も低下、上昇したのは小売業のみであった。一方で前年同期比でみた業況DIは輸送機器と建設業を除き全業種で上昇した。

・先行き3カ月の予想はコロナワクチンの接種開始等を見据え総じて上向き。輸送機器と建設業を除く全業種でDIの上昇を予想している。

全 体 D I 値 の 推 移	2020.4-6月期	2020.7-9月期	2020.10-12月期	2021.1-3月期
売上高前期比	▲ 63.5	▲ 35.9	▲ 21.5	▲ 37.4
売上高前年同期比	▲ 74.0	▲ 68.2	▲ 54.5	▲ 51.2
仕入単価前期比	▲ 9.6	▲ 10.6	▲ 15.8	▲ 24.2
利益率前期比	▲ 53.4	▲ 41.9	▲ 31.1	▲ 39.8
資金繰り前年同期比	▲ 51.1	▲ 33.2	▲ 22.0	▲ 18.0
従業員前年同期比	▲ 3.7	▲ 7.4	▲ 2.9	1.4
業況前期比	▲ 66.7	▲ 42.4	▲ 25.8	▲ 39.8
業況前年同期比	▲ 81.3	▲ 74.2	▲ 50.2	▲ 46.9
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 68.5	▲ 38.3	▲ 38.8	▲ 26.1



(4)比較資料編

当所調査のDI値をもとに、同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較を行った。

(なお、日本商工会議所のLOBO調査については毎月調査となっているため、10～12月の平均値でDI値を算出)

①売上高前期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 39.4	▲ 20.7	－	－
建設業	▲ 25.0	▲ 14.3	－	－
卸売業	▲ 40.0	▲ 23.9	－	－
小売業	▲ 13.8	▲ 32.6	－	－
サービス業	▲ 56.9	▲ 32.8	－	－
全 体	▲ 37.4	▲ 26.8	－	－

②売上高前年同期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 62.1	－	▲ 43.0	3.3
建設業	▲ 32.5	－	▲ 21.2	2.0
卸売業	▲ 48.0	－	▲ 45.4	
小売業	▲ 24.1	－	▲ 40.1	
サービス業	▲ 68.6	－	▲ 58.7	
全 体	▲ 51.2	－	▲ 43.2	2.3

(↑ 非製造業という括り)

③仕入単価前期比DI (「下降」と答えた割合－「増加」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 27.3	－	▲ 22.8	－
建設業	▲ 27.5	－	▲ 28.9	－
卸売業	▲ 32.0	－	▲ 25.2	－
小売業	▲ 13.8	－	▲ 17.5	－
サービス業	▲ 19.6	－	▲ 16.3	－
全 体	▲ 24.2	－	▲ 21.3	－

(仕入単価・前年同期比)

④利益率前期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 51.5	▲ 42.9	▲ 38.7	20.6
建設業	▲ 25.0	▲ 22.7	▲ 23.4	22.9
卸売業	▲ 40.0	▲ 39.4	▲ 38.2	
小売業	▲ 27.6	▲ 46.2	▲ 37.6	
サービス業	▲ 43.1	▲ 51.8	▲ 57.6	
全 体	▲ 39.8	▲ 43.8	▲ 40.9	22.3

(採算・前年同期比) (採算・前年同期比) (経常利益・前年同期比)

⑤資金繰り前年同期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(全規模)
製造業	▲ 18.2	▲ 17.4	▲ 20.2	11.0
建設業	▲ 7.5	▲ 7.6	▲ 5.5	8.0
卸売業	▲ 16.0	▲ 11.6	▲ 15.5	
小売業	▲ 6.9	▲ 24.3	▲ 24.5	
サービス業	▲ 33.3	▲ 27.2	▲ 38.5	
全 体	▲ 18.0	▲ 20.6	▲ 23.0	9.0

(前期比)

(直近比)

⑥従業員前年同期比DI（「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	3.0	▲ 11.1	－	－
建設業	5.0	▲ 3.9	－	－
卸売業	12.0	▲ 7.6	－	－
小売業	▲ 3.4	▲ 7.0	－	－
サービス業	▲ 5.9	▲ 12.6	－	－
全 体	1.4	▲ 9.5	－	－

⑦業況前期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 43.9	▲ 25.0	－	▲ 13.0
建設業	▲ 25.0	▲ 14.3	－	9.0
卸売業	▲ 44.0	▲ 27.7	－	▲ 19.0
小売業	▲ 17.2	▲ 35.4	－	▲ 5.0
サービス業	▲ 56.9	▲ 35.6	－	▲ 75.0
全 体	▲ 39.8	▲ 29.5	－	▲ 12.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）

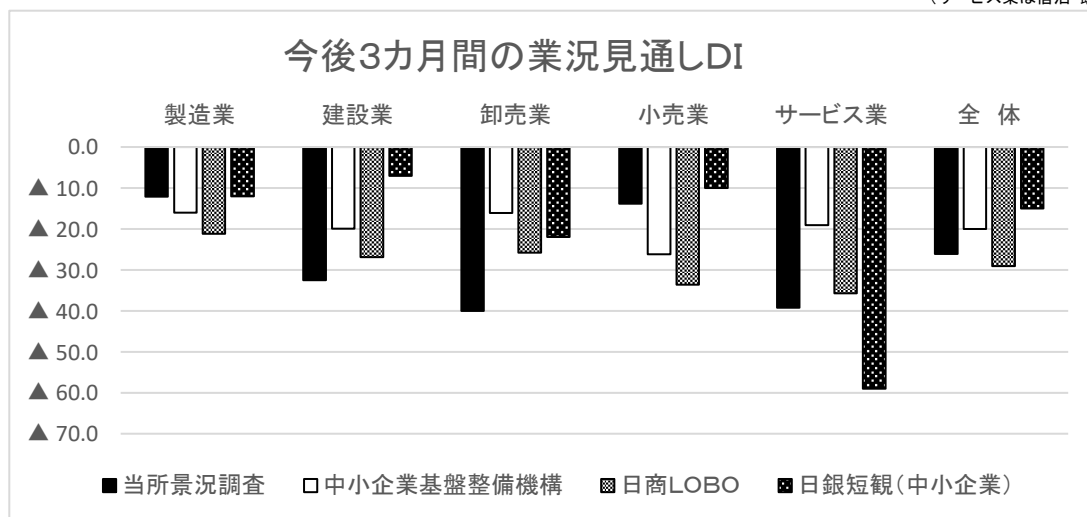
⑧業況前年同期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 56.1	－	▲ 42.3	－
建設業	▲ 30.0	－	▲ 23.5	－
卸売業	▲ 48.0	－	▲ 43.9	－
小売業	▲ 27.6	－	▲ 43.1	－
サービス業	▲ 58.8	－	▲ 58.7	－
全 体	▲ 46.9	－	▲ 43.9	－

⑨今後3ヶ月間の業況見通しDI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 12.1	▲ 16.0	▲ 21.2	▲ 12.0
建設業	▲ 32.5	▲ 19.9	▲ 26.9	▲ 7.0
卸売業	▲ 40.0	▲ 16.1	▲ 25.8	▲ 22.0
小売業	▲ 13.8	▲ 26.2	▲ 33.6	▲ 10.0
サービス業	▲ 39.2	▲ 19.1	▲ 35.7	▲ 59.0
全 体	▲ 26.1	▲ 20.0	▲ 29.1	▲ 15.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）



太田商工会議所管内景況調査報告書

～調査・分析・発行～

太田商工会議所

〒 373-8521

群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

Mail info@staff.otacci.or.jp

2021年（令和3年）4月6日 発行